

# 平成26年度第2回審判幹事会

- 1、日 時 平成26年3月5日(水) 18時30分
- 2、場 所 中野商工会館 3階会議室
- 3、欠席者
- 4、議 題

(1) 26,27年度審判部役員について

(2) 26年度改正ルールについて

(3) 主催大会時の審判責任者の役割と作業について

(4) 月例勉強会について

(5) その他

平成26年度・27年度 公益財団法人東京都軟式野球連盟審判部会組織表

審判部長  
櫛 哲郎

技術指導担当	後援大会担当	総務担当	庶務担当	会計担当
(委員長)	(委員長)	(委員長)	(委員長)	(委員長)
倉橋 成実(全)	遠藤 靖彦(杉並)	飯島 啓男(町田)	宮田 浩明(指名)	中村 長利(練馬)
(副委員長)	(副委員長)	(副委員長)	(副委員長)	(副委員長)
神窪 孝幸(全)	長永 邦男(新宿)	横山 誠(三鷹)	大高 一房(豊島)	森賀 芳郎(小金井)
山室 巖(全)	吉田 陽一(品川)	串田 平和(日野)	小野澤貞二(中野)	斉藤 幹夫(港)
(委員)	(委員)	(委員)	(委員)	(委員)
宮田 浩明(全)	大野 賢治(中央)	米川 慎一(目黒)	前川 信朝(北)	服部 春夫(清瀬)
遠藤 靖彦(全)	半井 順一(西東京)	内田八寿夫(葛飾)	京谷 健司(稲城)	根本 泰(大田)
石丸 大史(研)	北原 歩(中体連)	小野 等(府中)	吉田 實(東久留米)	黒島 仁(荒川)
江本 誠(研)	森村 明光(文京)	原田 尚司(墨田)	森谷 充治(渋谷)	
山内 泰雄(6B)	松山 正二(武蔵野)	服部 彰二(江戸川)	竹内 靖(調布)	
千木良 稔(1B)	大野 重幸(足立)	片平 宗夫(江東)	江波戸正彦(青梅)	
杉村 信夫(2B)	藤井健太郎(板橋)			
渡邊 廣重(3B)	関内 啓一(台東)			
鈴木 康之(4B)				
萩原 健(5B)				
足立 栄二(東)				
川上 大介(東)				
吉田 勝(東)				
石川 好夫(東)				
中村 喜生(東)				
有村 義盛(東)				
仲田 啓介(東)				
高木 寛徳(東)				

【担当部の役割】

- |         |                          |
|---------|--------------------------|
| 1 技術指導部 | …審判技術の一切の指導育成及び上部大会の運営補助 |
| 2 後援大会部 | …連盟の各種後援大会の審判員の派遣要請      |
| 3 総務部   | …連盟大会等の割当及び総務全般          |
| 4 庶務部   | …幹事会等の議事録作成及び活動記録証の作成    |
| 5 会計部   | …審判部の会計に関する一切の管理         |
| (全)     | …全日本軟式野球連盟審判技術指導員        |
| (東)     | …東京都軟式野球連盟審判技術指導員        |

## 平成26年度 各大会 審判長・副審判長

大会名	大会日程	主会場	審判長	副審判長			
(大人)							
春季大会	4/5～4/29	上井草/清瀬 他	遠藤	小野澤	服部 (春)	藤井	石丸
都民大会	5/10～6/1	駒沢/大井埠頭	倉橋	吉田 (陽)	川上	江本	足立
スポ-マstars	5/24～6/14	足立・稲城/上井草	遠藤	長永	米川	京谷	中村 (喜)
夏季大会	6/21～7/21	上井草/足立・板橋	遠藤	千木良	原田	大野 (重)	江本
秋季大会	8/30～9/28	上井草/板橋 他	飯島	森村	大高	黒島	山内
王座決定戦	11/15～11/23	稲城・町田	梶	遠藤	倉橋	神窪	山室
(少年・学童)							
全日本少年	5/10～6/14	上井草/中野 他	遠藤	大野 (賢)	斉藤	根本	杉村
全日本学童	6/7～7/13	府中郷土の森	飯島	森谷	小野	竹内	有村
女子学童	6/14～7/21	駒沢軟式	中村	関内	片平	江波戸	仲田
都知事杯	7/5～8/3	八王子滝が原	宮口	松山	横山	串田	江本
都少年	7/5～8/3	駒沢/大田多摩川	遠藤	半井	北原	萩原	神窪
少年王座決定	8/30～8/31	駒沢	梶	倉橋	石丸		
学童王座決定	9/14～9/15	駒沢	梶	倉橋	江本		
都少年新人	9/21～10/19	大田/駒沢	倉橋	服部 (彰)	吉田 (實)	渡辺 (廣)	高木寛
学童新人	9/27～10/26	板橋区戸田橋	中村	前川	吉田 (勝)	石川	鈴木
セガサミー	11/22～23	セガサミー	梶	遠藤			

## 各大会監督・主将会議 会場及び日程

大会名	期日	会場	出席者	
春季大会	3月26日	東京体育館	梶	遠藤
都民大会	4月14日	東京体育館		倉橋
マスターズ	5月16日	東京体育館		遠藤
夏季大会	6月12日	東京体育館		遠藤
秋季大会		東京体育館		飯島
王座決定戦		東連事務所		遠藤
全日本少年	4月23日	東京体育館		遠藤
全日本学童	5月28日	東京体育館		中村
女子学童	6月4日	東京体育館		宮口
都知事杯	6月24日	東京体育館		飯島
都少年	6月23日	東京体育館		遠藤
学童王座決定		東連事務所		飯島
都少年新人		東京体育館		倉橋
学童新人		東京体育館		中村
セガサミー		東連事務所		遠藤

平成26年度 準加盟支部割当担当指導員

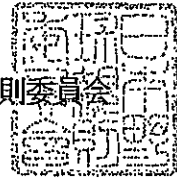
大会名	月 日	球場名	割当支部名		支部	担当者(東連指導員)	責任者
全日本学童	6月8日(日)	郷土の森	立川	立川	八王子	石川	飯島
			国立	国立	三鷹	仲田	
			狛江	狛江	府中	杉村	
			瑞穂	瑞穂	小金井	足立	
			国分寺	国分寺	町田	千木良	
			多摩	多摩	東久留米	高木	
			小平	小平	稲城	萩原	
	武蔵村山	武蔵村山	清瀬	山内			
	6月15日(日)	郷土の森	立川	立川	武蔵野	有村	
			東村山	東村山	三鷹	高木	
			福生	福生	昭島	杉村	
			羽村	羽村	小金井	鈴木	
			あきる野	あきる野	日野	山内	
			多摩	多摩	西東京	萩原	
小平			小平	稲城	渡辺		
武蔵村山	武蔵村山	青梅	仲田				
女子学童	6月15日(日)	駒沢軟式	国立	国立	目黒	足立	中村(長)
	6月22日(日)	駒沢軟式	瑞穂	瑞穂	世田谷	石川	
			東村山	東村山	荒川	川上	
	6月29日(日)	駒沢軟式	福生	福生	葛飾	足立	
			羽村	羽村	世田谷	中村(喜)	
			あきる野	あきる野	江戸川	千木良	

大会名	月 日	球場名	割当支部名		支部	担当者(東連指導員)	責任者
都知事杯	7月6日(日)	滝が原	東村山	東村山	八王子	吉田	梶
			福生	福生	武蔵野	山内	
			狛江	狛江	昭島	石丸	
			瑞穂	瑞穂	町田	有村	
			あきる野	あきる野	日野	鈴木	
			国分寺	国分寺	西東京	江本	
			多摩	多摩	稲城	萩原	
			小平	小平	清瀬	仲田	
都知事杯	7月13日(日)	滝が原	東村山	東村山	中央	杉村	
			国立	国立	新宿	足立	
			狛江	狛江	文京	吉田	
			羽村	羽村	墨田	中村(喜)	
			あきる野	あきる野	渋谷	千木良	
			国分寺	国分寺	荒川	有村	
			多摩	多摩	八王子	仲田	
武蔵村山	武蔵村山	青梅	山内				
学童新人	9月28日(日)	戸田橋	立川	立川	豊島	杉村	中村(長)
			東村山	東村山	北	仲田	
			福生	福生	荒川	足立	
			狛江	狛江	板橋	鈴木	
			瑞穂	瑞穂	板橋	石川	
			国分寺	国分寺	練馬	中村(喜)	
			多摩	多摩	足立	高木	
	小平	小平	武蔵野	渡辺			
	10月5日(日)	戸田橋	東村山	東村山	千代田	杉村	
			国立	国立	江東	足立	
			羽村	羽村	品川	石川	
			あきる野	あきる野	板橋	渡辺	
			小平	小平	板橋	萩原	
			武蔵村山	武蔵村山	葛飾	鈴木	

2014年1月27日

2014年度 野球規則改正

日本野球規則委員会



(1) 1. 15冒頭の「投手のグラブ」を「投手を含む野手のグラブ」に改め、同(a)を次のように改める。

①末尾に次を追加する。

守備位置に関係なく、野手はPANTONE®の色基準14番よりうすい色のグラブを使用することはできない。

②次の【注】を追加する。

【注】アマチュア野球では、所属する連盟、協会の規定に従う。

(2) 1. 17【注】③の3段目の末尾に次を追加する。

ただし、日本野球規則委員会が特に認めた場合は、この限りではない。

(3) 2. 40【原注】の3段目として次を追加する。

インフィールドフライが宣告されたときに妨害が発生した場合、打球がフェアかファウルかが確定するまでボールインプレイの状態は続く。打球がフェアになれば、野手の守備を妨害した走者と、打者がアウトになる。打球がファウルになれば、野手の守備を妨害した走者だけがアウトとなり、その打球が捕球されたとしても、打者は打ち直しとなる。

(4) 2. 44(a)【原注】の後段として次を追加し、同【注】の「本項【原注】」を「本項【原注】前段」に改める。

ただし、0アウトまたは1アウトのとき、本塁でのプレイで走者が得点した後、打者走者がスリーフットレーンの外を走って守備妨害でアウトが宣告されても、その走者そのままセーフが認められて、得点は記録される。

(5) 2. 44の末尾の文、「妨害が起きた場合は、ボールデッドとなる。」を削除する。

(6) 3. 05(d)の末尾に次を追加する。

また、投手が塁上にいるとき、または投手の打席で前のインニングが終了して、投手がダッグアウトに戻らずにマウンドに向かった場合は、その投手は、準備投球のために投手板を踏まない限り、そのインニングの第1打者に投球する義務はない。

(7) 4. 12 (b) (4) を次のように改める。(下線部を改正)

(4) 両クラブ間の最終試合までに一時停止試合が完了していなかった場合は、次のとおりワールドゲームとなる。その試合が、

(i) 正式試合となる回数が行われており、かついずれかのチームがリードしている場合は、リードしているチームの勝ちが宣告される。(ビジティングチームがある回の表にリードを奪う得点を記録したが、その回の裏にホームチームがリードを奪い返す得点を記録しないうちにワールドゲームが宣せられた場合は除く。この場合は、両チームが完了した最終均等回の総得点で勝敗を決する。)

(ii) 正式試合となる回数が行われており、かつ同点の場合は、“タイゲーム”が宣告される。(ビジティングチームがある回の表に得点を記録してホームチームの得点と等しくなったが、その回の裏にホームチームが得点を記録しないうちにワールドゲームが宣せられた場合は除く。この場合は、両チームが完了した最終均等回の総得点で勝敗を決する。)  
この場合は、……

(8) 6. 05 (h) 【原注】の2段目を次のように改める。(下線部を追加)

バット全体がフェア地域またはファウル地域に飛んで……

(9) 6. 06 (c) 【原注】の2段目を次のように改める(下線部を改正)。また、7. 00 補則 (B) (a) (4) も同様に改める。

打者が空振りし、スイングの余勢で、その所持するバットが、捕手または投球に当たり、審判員が故意ではないと判断した場合は、打者の妨害とはしないが、ボールデッドとして走者の進塁を許さない。……

(10) 7. 09 (a) を次のように改め(下線部を追加)、【原注】を追加する。また、同【注】①②③の「捕手の守備動作を妨害」をそれぞれ「捕手の守備動作を明らかに妨害」に改め、7. 00 補則 (A) (g) の「捕手の守備を妨げた」を「捕手の守備を明らかに妨げた」に改める。

(a) 第3ストライクの後、打者走者が投球を処理しようとしている捕手を明らかに妨げた場合。

打者走者はアウトになり、ボールデッドとなって、他の走者は投手の投球当時占有していた塁に戻る。

【原注】投球が、捕手または審判員に触れて進路が変わり、その後に打者走者に触れた場合は、打者走者が投球を処理しようとしている捕手を明らかに妨げたと審判員が判断しない限り、妨害とはみなされない。

(11) 8. 0 2 (a) (1) ペナルティを次のように改める。(下線部を追加)

ペナルティ 投手が本項に違反した場合には、球審はただちにボールを交換させ、投手に警告を発する。投手がさらに違反した場合には、ボールを宣告する。・・・

(12) 8. 0 5 (b) および同【注】を次のように改める。(下線部を改正)

(b) 投手板に触れている投手が、一塁または三塁に送球するまねだけして、実際に送球しなかった場合。

【注】投手が投手板に触れているとき、走者のいる二塁へは、その塁の方向に直接ステップすれば偽投してもよいが、一塁または三塁と打者への偽投は許されない。・・・

(13) 8. 0 5 (c) 【原注】を次のように改め(下線部を改正)、同【注】を削除する。

【原注】・・・ボークである。投手は、塁に送球する前に塁の方向へ直接踏み出さなければならず、踏み出したら送球しなければならない。(二塁については例外)

走者一・三塁のとき、投手が走者を三塁に戻すために三塁へ踏み出したが実際に送球しなかったら(軸足は投手板に触れたまま)、ボークとなる。

(14) 1 0. 0 1 (a) の3～5段目を次のように改める。(下線部を改正)

(a)・・・助言を与える。

クラブ職員およびプレーヤーは、その決定について記録員と意見を交換することはできない。

記録員は、試合終了後あるいはサスペンデッドゲーム宣告後24時間以内に、あらゆる記録を決定しなければならない。

メジャーリーグのプレーヤーまたはクラブは、試合終了後(またはサスペンデッドゲーム宣告後)72時間以内、あるいは記録員が本項の規定により試合終了後(またはサスペンデッドゲーム宣告後)24時間以内に試合中に下した決定を変更した場合はその変更から72時間以内に、書面または認められた電子的手段によってコミッショナー事務局へ通知して、運営部門責任者に記録員の決定を見直すように要求することができる。運営部門責任者は、すべての関連する利用可能な映像を入手しなければならず、検討が必要と認めたあらゆる証拠をよく考慮して、記録員の決定が明らかに誤っていると判断した場合には、記録員にその決定を変更するように命じることができる。以後、この決定を変更することはできない。運営部門責任者は、プレーヤーまたはクラブがくり返し見直しに値しない申し立てをしたり、不誠実な行為をして、申し立て手続きを悪用したとみなした場合には、警告の後にプレーヤーまたはクラブに適宜な制裁を科すことができる。

マイナーリーグのプレーヤーまたはクラブは、リーグの規則に基づいて、リーグ会長に記録員の決定を見直すように要求することができる。

記録員は、試合終了後(フォーフィッテッドゲーム・・・

以 上

1. 2014年度野球規則改正に伴い競技者必携の改正について

平成25年11月29日

	野球規則改正	全軟連対応
1.15	野手のグラブの色の制限について	アマ注「アマチュア野球では、所属する連盟、協会の規定に従う。」を規則書に追加する。なお、社会人、大学は規則どおりの適用については来シーズン1年間は猶予期間とする。この規則は硬式用グラブに適用する。 全軟連はこの規則を適用しない。
8.05	三塁への偽投禁止について	来シーズンから適用する。
3.17	イニング中のダッグアウトを出ての投送球のウォームアップの禁止について	全軟連としては、従来通り二組4名以内で行い、ベンチ前ではキャッチボールのみに限定する。

2. 競技者必携の改正について

頁	現 行	改 正 後
13	2 開会式は、ユニフォーム並びにスパイク並びにアップシューズ…	2 開会式は、ユニフォーム並びにスパイクで入場行進する。但し、球場の芝保護の為アップシューズも認める。(ウインド…)
14	打順表(登録された者全員を記入したもの)を主将が	打順表(登録された者全員を記入したもの)を監督または主将が
14	前の試合の七回終了時(少年部、学童部は五回終了時)までに	前の試合の5回終了時(少年部、学童部は4回終了時)までに
21	2 少年部・学童部 七回戦	(1)正式試合(コールドゲーム)になる回数を5回とする。
21	(新) 日本スポーツマスターズ9回戦	7回戦 指名打者制の導入
23	引き続き特別延長戦を行い、十回を	引き続き特別延長戦を行い、9回を
28	3 監督またはコーチが投手のところへの制限回数	3 監督または、削除 3 監督またはコーチが投手のところへは、1試合に三度以内とする。なお、延長戦(特別延長戦も含む)、2イニングに一度行くことができる。
	新	攻撃側のタイムの回数制限



		攻撃側のタイムは一試合に三度以内とする。なお、延長戦(特別延長戦も含む)となった場合は、2イニングに一度とする。
3 1	投手の投球制限については、健康維持を考慮し、一日七イニングまでとする。	投手の投球制限については、肘、肩の傷害防止を考慮し、一日7イニングまでとする。但し、特別延長戦に限り2イニングは認める。
上記については2014年度から適用します。		
下記については適用しませんので、従来通り継続打順で行います。		
2 2	(特別延長戦) 継続打順で、	(特別延長戦) 任意打順で、 但し、打順表提出時に第一打者を記載し、勝敗が決しない場合は、さらに同一打者で繰り返す。

# 公式野球大会注意事項 [少年部 (中学年齢層)・学童部 (小学年齢層)]

公益財団法人東京都軟式野球連盟

## 【競技上および審判上の注意事項】

1. ベンチは組合せ番号の若い方を1塁側とし後攻、3塁側を先攻とする。準決勝、決勝戦の試合は球審立会いのもとに、第2試合に於いては第1試合4回終了時に両チームの主将により攻守を決定する。
2. 試合は7回戦とし、1時間45分を過ぎて新しいイニングに入らないこととする。
3. 得点差によるコールドゲームはすべての試合に於いて4回終了時10点差、5回以降7点差とする。
4. 正式試合の成立は5回完了時とするが、5回以前でも規定時間に達したならば、試合は成立する。規定のコールドゲームに達するまで試合が進行していない場合、すなわちノーゲーム(5回以前)になる回数の時でも特別継続試合として行うことがある。
5. 7回を完了時または制限時間を過ぎて同点の場合は、特別延長戦(無死満塁で継続打順)を行う。特別延長戦は最大2イニングまで行い、勝敗が決しない場合は抽選によって勝敗を決する。
6. 背番号は監督30番、コーチ29、28番(2人いる場合)、主将を10番とし、選手0番から27番の10名以上20名以内とする。ただし、監督、コーチは成人者でなければならない。なお、登録は全て男女を問わない。
7. 投手の投球制限については、1日7イニングまでとする。なお、学童部3年生以下にあっては、1日5イニングまでとする。投球イニングに端数が生じたときの取り扱いについては、3分の1回(アウト1つ)未満の場合であっても、1イニング投球したものとして数える。尚、特別延長戦に限り2イニングまで投球できる。
8. すでに試合に出場している投手がイニングの初めに投手板に位置したならば、第1打者がアウトになるかあるいは1塁に達するまで、投球する義務がある
9. 大会でベンチに入れる人員は、監督、コーチ(登録者に限る)、選手及びチーム代表者(引率責任者)、マネージャー、スコアラーの各1名とする。また、監督、コーチ以外はユニフォームを着用しないこと。
10. 捕手を含む内野手が1試合に投手のところへ行ける回数を3度以内とする。なお、特別延長戦となった場合は、2イニングに1度行くことができる。
11. 監督に限り、グラウンドに出て指示をすることができる。なお、小走りでスピーディーに選手のもとに行くこと。

12. タイムの制限…監督またはコーチが1試合に投手のところに行ける回数は、7イニングに於いて3度以内。特別延長戦は2イニングに1度行くことができる。攻撃側のタイムは1試合に3度以内とする。なお、特別延長戦となった場合は、2イニングに1度とする。
12. 抗議のできるものは、監督と当該プレーヤーとする。
13. 学童は投手が変化球を投げることを禁止する。投げた時のペナルティは公益財団法人全日本軟式野球連盟が発行する競技者必携の「競技に関する連盟特別規則」を適用する。
14. 同一チームの監督、コーチ、選手は全員同色、同形、同意匠のユニフォーム・帽子・アンダーシャツ・ストッキング・スパイクでなければならない。
15. 金属・ハイコン（複合）バットはJ.S.B.B.のマークが入ったものを使用すること。  
学童に限り金属製スパイクの使用を禁止する。なお、運動靴でも可とするが、全員が同色のものとする。
16. 捕手は連盟公認（J.S.B.B.）のマスク・レガーズ・プロテクター・ヘルメットを着用すること。シートノックがある場合も同様とする。また、ファウルカップを着用すること。なお、シートノック時の補助員はヘルメットを着帽すること。なお、補助員は大人でもよいが、ユニフォーム着用者とする。
17. 打者、次打者、走者は両側にイヤーフラップのついた連盟公認のヘルメットを着帽すること。なお、ベースコーチも着帽すること。
18. 学童はベース板を固定しない場合がある。打者の衝撃でベースが移動したときは、野球規則7.08C項付記2・3を適用する。
19. 守備が終わり、最後のボール保持者は必ず投手板にボールを置いてベンチに戻る。
20. 投手が投球位置にいる・いないに関係なく、打者は速やかにバッタースボックスに入ること。なお、サインはバッタースボックス内で見ること。また、次打者は必ず次打者席に入り低い姿勢で待つこと。投手も必ず実行すること。
21. ベンチ内での電子機器（携帯電話・パソコン等）及び携帯マイクの使用を禁止する。メガホンは1個に限り使用を認める。
22. 球場内でのフリーバッティング及び球場外での素振り、キャッチボールは禁止する。
23. 第2試合以降のバッテリーのブルペン使用は、シートノックがない場合に限り、打順表を提出し照合を受けた後先発バッテリーに限り5回終了時または1時間15分を経過したのち投球することを認める。
24. 試合中及び球場への往復の事故については、主催者は一切責任を持ちませんのでご了承のうえ、参加してください。

審判幹事・副部長 各位  
全連指導員・東連指導員

平成26年3月5日  
(公財)東京都軟式野球連盟  
審判部長 梶 哲郎

## 東連主催大会の審判責任者の役割と作業の周知徹底事項

- (1) 派遣当番支部の確認〔審判幹事と審判員（3名）〕〔準加盟支部割当は2名+支部選出1名+指導員1名〕
- (2) 朝礼及び審判員のミーティング
  - \* 当番理事を紹介し朝礼での一言を頂き、派遣支部審判員の紹介（自己紹介で）。
  - \* 大会プログラムを幹事・審判員への配布。
  - \* 大会競技上及び審判上の注意事項の確認  
選手のグラウンドインの時間、試合制限時間、特別延長戦、コールドゲーム（準決勝・決勝戦を含み全ての試合に適用）、第二試合以降の先発バッテリーのグラウンドインの回数、試合中はネクストバッター・ベースコーチ以外はベンチを出ない（キャッチボールは二組まで）、球場外での素振りキャッチボールの禁止、救急車を呼ぶ場合は役員に報告する、試合開始前にメンバー表への照合印の捺印確認 と特別グラウンドルール等の説明。
- (3) 担当グラウンドの支部割
  - \* 自支部の試合は担当しない事と、試合数が違う場合の割り振りを配慮する。
  - \* グラウンドによってはスコアボード・ボールカウント係の割り振り。
  - \* 選抜審判員の場合は試合毎の審判割を本部用・放送用（放送がある時）審判員用を作成提出。
- (4) 各グラウンドの試合用備品の点検をしボール・連盟記録用紙（試合No・支部名・チーム名・試合開始、終了時間・投手の投球回数を必ず記入、署名）・得点板用得点番号を支部ごとに渡す。
- (5) 日章旗・連盟旗等の掲揚と降掲、審判交通費用紙への記入捺印（支部順）、当番理事へ弁当の数を報告する。
- (6) 担当役員が一人の場合はメンバー表の照合を手伝って下さい。
- (7) 試合途中の経過・状況確認（試合時間制限に於いて微妙な時は特に現場審判員に綿密な指示をし確認の上試合進行する事、試合途中での降雨の対応・トラブル等）。
- (8) 各グラウンドの試合終了後、本部役員と試合日誌を点検し照合してグラウンドの試合用備品を点検の上役員へ提出。
- (9) 活動記録証へ記入押印し審判交通費の支給
- (10) 終礼（担当役員より挨拶を頂き）、その後審判員のミーティングを全員で行い（各グラウンド毎に問題点・トラブル等の報告をしてもらいその場で解決する事、トラブル等があったならば必ず担当役員へ報告する事）他の

グラウンドより早く終了しても帰らない事、また塁審の交替は原則として昼食時のみとし、交替する場合は必ずグラウンドの外で行う事。

- (11) サングラスの使用については試合前（メンバー表提出時）大会本部にて点検を受ける事。尚、ミラーグラスの使用はできない事と帽子の底の上にかける事は絶対禁止を通告する事、ネックウォーマーの使用（黒色・紺色のみ）を認める、制限時間に達したならばイニングに拘らず試合は成立する、九回終了時又は制限時間に達し同点の場合（準決勝・決勝戦は勝敗が決するまで特別延長戦を行う）は最大三イニングスまでの特別延長を行いそれでも同点の場合は抽選で勝敗を決する。学童・少年の大会は制限時間に達したならばイニングに拘らず試合は成立する、七回終了時又は制限時間に達し同点の場合は全ての試合、最大二イニングスまで特別延長戦を行いなお同点の場合は抽選で勝敗を決する。学童・少年の投球制限は一日七イニングス（三年生以下の選手は五イニングス）までとし、特別延長戦の場合はなお二イニング投球できる等の周知徹底。
- (12) 学童・少年大会の投手の投球回数は打順表で球審と控審判で確認し、一般を含め全ての大会では試合開始時間を球審と控審判が試合開始宣告前に確認する。
- (13) 雨天中止による支部、選抜審判員の当番確認は次週の火曜日夕方以降に大会審判長に問い合わせる事。
- (14) 責任審判員は当番当日、試合開始1時間15分前に会場に到着して下さい。

#### ※ 《抽選方法》

- ①両チームを最終ポジション順（先頭は投手）に整列させ9名以外は少し離す。
- ②18枚の封筒を球審が確認し先ず先攻の投手、次に後攻の投手と交互に最終の右翼手まで一枚ずつ封筒を引かせる。
- ③三塁側チームは三塁塁審、一塁側チームは一塁塁審が封筒を回収し○印数を球審と数え両チームの主将に確認を取る。
- ④抽選結果を球審が告げて最後に両チームを整列させ試合終了の宣告をする。
- ⑤球審は試合終了後、記録用紙に「抽選勝」と記入。

## 時間制限の解釈について (学童・少年大会)

◎ (公財) 東京都軟式野球連盟公式野球大会注意事項抜粋 ※ 一時間45分を過ぎて新しい回に入らない事とする。

★ [例1]

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
A	0	0	0	0	1	0				
B	0	0	0	0	0	(0)				

☆ 六回裏終了時で1時間45分を過ぎたら新しい回に入らない。

★ [例2]

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
A	0	0	0	0	0	0				
B	0	0	0	0	1	(X)				

☆ 六回表終了時で1時間45分を過ぎたら後攻チームが勝っているため六回裏には入らない。

★ [例3]

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
A	0	0	0	0	1	0				
B	0	0	0	0	0	(*)				

☆ 六回裏の攻撃が始まる時に1時間45分を過ぎていて六回裏に2点が入ったら試合終了となる。但し、六回裏の攻撃が始まる時に1時間45分以前ならば六回裏に、たとえ2点以上得点しても七回表の攻撃に入る事とする。  
尚、六回裏1点が入って同点で攻撃が終了した時に1時間45分を過ぎていたら七回からは全ての試合において最大2イニングまで特別方式で行い(七回終了時で同点の場合においても)、それでも同点の場合は最終ポジション9名による抽選で勝敗を決する。

## 月例勉強会のお知らせ

平成26年度も「月例勉強会」を下記のとおり開催いたします。

審判技術は常に変化しています、①ボールをよく見てプレーは正しい位置で見る②プレーの発生する場所へ素早く動く③判定はハッキリとわかりやすく大きな動きで伝えるなど、実際の試合で役立つ課題に取り組む予定です。

各支部より多数のご参加をお願いいたします。

特に、支部指導員、選抜審判員、一級審判員、東京都軟式野球連盟大会に派遣される審判員、審判技術の向上を目指すみなさまのご参加をお願いいたします。

### 1 実施日

4月	5日(土)	18:30~20:30
5月	10日(土)	18:30~20:30
6月	7日(土)	18:30~20:30
7月	5日(土)	18:30~20:30
9月	6日(土)	18:30~20:30
10月	4日(土)	18:30~20:30
11月	1日(土)	18:30~20:30

### 2 場所

中野区立商工会館会議室

中野区新井3-11-4

※交通

JR中央線、JR総武線、地下鉄東西線

中野駅北口より徒歩7分

(駐車場はありませんのでお車での来場は控えてください)